

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道150号 志太～榛南バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	静岡県
起終点	自：焼津市 三和 至：志太郡 大井川町 藤守	延長	L=3.3km		

事業概要

一般国道150号は、静岡県静岡市を起点とし、静岡県浜松市に至る延長約125kmの主要な幹線道路であるほか、県の中西部沿線地域の経済活動を支えるとともに地域間交流にも極めて重要な役割を担う路線である。志太～榛南バイパスは恒常的に発生している現道の渋滞を解消し、安全で円滑な交通確保を目的とした延長3.3kmの4車線道路である。

事業の目的、必要性

志太～榛南バイパスは第3次渋滞ポイントに位置付けられている『富士見橋東交差点』『宗高交差点』など、一般国道150号の焼津市、大井川町周辺の慢性的な渋滞を解消するとともに、騒音や大気汚染等の沿道環境の改善、志太榛南地域の物流機能の強化に大きく寄与するものである。

全体事業費	56億		計画交通量	21,900台/日	
費用便益比	B / C	総費用	総便益	基準年	
	8.1	41億円 〔事業費：39億円 維持管理費：2億円〕	331億円 〔走行時間短縮便益：335億円 走行費用減少便益：-4億円 交通事故減少便益：0億円〕	平成15年	

事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（現道等における旅行速度の改善が期待される）
- ・物流効率化の支援（特定重要港湾清水港、重要港湾御前崎港へアクセス向上が見込まれる）
- ・個性ある地域の形成（主要な観光地である御前崎、静波海水浴場へのアクセス向上が期待される）
- ・生活環境の改善・保全（夜間騒音要請限度を超過している焼津・大井川地区の騒音レベルが低下）
他8項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見

当バイパスは、志太～榛南地域の発展に欠かすことのできない道路であり、「志太榛原地区国道150号バイパス建設促進期成同盟会」（焼津市、大井川町、吉田町、榛原町、相良町、御前崎町）による整備促進要望（平成15年10月）を事業主体である静岡県が受けている。

事業概要図

